

# 算数解説(初級編)

## 正方形と長方形の面積

1 辺の長さが 10cm の折り紙と、たてが 9cm、横が 11cm のカードがあります。どちらの方が大きい（広い）でしょうか。

折り紙はメモ帳よりちょっと大きいけれどノートよりだいぶ小さい…、カードは消しゴムよりもずっと大きいけれどスケジュール帳よりも少し小さい…。これではどちらが大きいのか、はっきりしませんね。

1 辺が 1cm の正方形の広さを  $1\text{cm}^2$ （平方センチメートル）といいます。この正方形何個分の広さなのかを考えることによって、広さをくらべることができます。

折り紙の場合、1 辺が 1cm の正方形はたてに 10 個、横にも 10 個ならべることができます。つまり、折り紙の上に正方形は  $10 \times 10 = 100$  個ならべることができます。 $10 + 10 = 20$  ではありません、気をつけて下さい。たてに 10 個ならべるものを、横に 10 列ですから、 $10 + 10 + 10 + \dots$  というように、10 を 10 回足すのです。同じ数を何回も足す計算は、かけ算です。

カードの面積は  $9 \times 11 = 99\text{cm}^2$  です。ですから、折り紙の方が大きいと分かります。

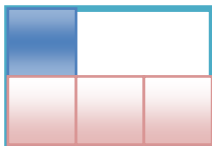
（かくにん）

たて 2cm、横 3cm の長方形の中に、1 辺が 1cm の正方形が何個入るか考えます。

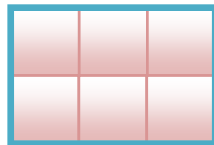
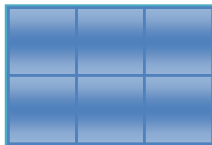
たては 2cm なので、2 個ならびます。横は 3cm なので、3 個ならびます。



正方形の数は  $2 + 3$  ではないですね。



$2 \times 3$  または、 $3 \times 2$  と数えます。



以上より、長方形の面積＝たて×横、正方形の面積＝1 辺×1 辺 といえます。